

9月7日（土）ホームカミングデー 児童・家庭福祉分野分科会 報告

テーマ 子どもにとって『最善の利益』とは

各自テーマに基づき自由に意見をまとめ、環境・外的要因毎にカテゴリー分けを行い、以下5つをどう最善の利益に結びつけるかについて話し合いました。

1) 家族

- ・ 安心感を与える
- ・ 自分が親になったときの姿勢を教授する
- ・ とくに母親との信頼関係が必要である
- ・ しつけ教育

2) 学校

- ・ 上下関係
- ・ 初めて社会のルールを覚える
- ・ 勉強と社会（将来）の結びつき
- ・ 社会の中での我慢を教わる

3) 生活環境

- ・ 第三者から教わること
- ・ その人を見て教わる
- ・ 食事

4) 子ども個人

- ・ 人の傷みが分かる
- ・ いいこと、悪いことの判断

5) 将来（大人）

- ・ 本当の社会を教えてくれる

以上の話し合いにより、「最善の利益」とは子どもの頃を有意義に過ごした結果、世代交代をして立場が変わったときに代々伝えられていくことではないか。指導をする、見守ってくれる、信じてくれる、そういったよき理解者がいることが「最善の利益」だと思う、という結論にたどり着きました。